

# 令和3年度 さいたま市立馬宮西小学校 学校関係者評価書

さいたま市立馬宮西小学校

学校関係者評価委員長



## 1 学校関係者評価の実施体制

### (1) 構成人数

12人

### (2) 実施回数

2回（2回目はまん延防止重点措置期間中のため書面開催）

## 2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために「新しい生活様式」に沿った学校生活が求められ、いろいろと制限や中止、延期があった中であるが、できることを進めていたことようだ。
- ・制約がある中で児童、教職員ともに不自由な面もあったかと思うが、感染拡大防止に配慮して進めていったことはよかったと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き、昔あそびや運動会等、以前のようにできるところから地域との交流が再開できるようになるとよい。
- ・児童の様子や学校の取組が保護者へ知らせている点がよいと思う。
- ・地域や保護者、外部関係者と連携を図っているところがよいと思う。
- ・さいたま市内で一番の小規模校のため成績や行動がすべて見られていると思う。学校の指導のおかげで校外で出会っても児童は挨拶をする。本当に明るい学校、さわやかな学校と思う。
- ・自分の子どもから聞く限りは特に問題はないと思われる。行事の縮小化、制限があり、地域とのかかわりが無くなってしまったのが残念だ。
- ・保護者から高い評価を得て、目標達成ができたことは喜ばしいと思う。
- ・「いじめの未然防止に努め、いじめを見逃さない指導を適切に行っている」の評価に「あまりそうではない」と保護者が評価しているところが気になる。

## 3 学校関係者評価を受けた学校の対応

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の教育委員会からの指示を教職員で共通理解を図りながら、児童や保護者、地域への発信を行い、理解を得ながら感染防止対策を今後も継続して行っていく。
- 保護者や地域の皆様からの本校に対する深い愛情、温かい目で見守ってくださっている思いを受け止め、その期待と信頼に応える学校を目指して「地域に開かれた学校づくり」に一層力を入れて取り組んでいく。
- 小規模校のよさを生かしながら学級活動や縦割り活動をとおして、温かい人間関係づくりを進め、いじめを見逃さない指導を徹底していく。
- 教職員が研修を積み重ねることにより教育相談や児童理解及び授業力の向上を目指す。SC、SSWIによる指導・助言や外部の相談機関等も積極的に利用し、多岐にわたる児童及び保護者の抱える問題を解決するためのがかりを見つけていく。
- 教職員がやりがいと活力をもって児童と向き合う時間を確保する働き方改革を推進するとともに、経験年数に応じた校内での研修やフォローができるよう放課後等の時間を確保していく。
- 保護者の学校評価アンケートにおいて1（ほとんどできていない）、2（あまりできていない）を選択した場合は具体的な意見や改善策等を記入していただき、次年度以降の学校経営に生かしていく。
- 安全でのびのびと児童が活動できるように施設・設備の安全点検を行い、教育委員会と連携しながら計画的に修繕計画を遂行していく。

さいたま市立馬宮西小学校長

浅田 俊哉

